

《めざす学校像》

- ◇地域に目を向け、地域とともに歩む学校
- ◇誰もが安全・安心を実感でき、心落ち着く学校
- ◇一体感があり、躍動感があふれる学校

《めざす生徒像》

- ◇視野を広げ、自ら進んで考え実行する生徒
- ◇感性と想像力を磨き、仲間とともに向上する生徒
- ◇創造性に富み、様々なことに挑戦する生徒

《広中ブランド》

- ◇「あいさつ」がすごい広中生
- ◇「マナー」が良い広中生
- ◇いつでもどこでも「よく働く」広中生
- ◇「地域行事」に参加する広中生

《学校経営の重点》

- ◇地域とともに学び発展する学校づくり
 - ◇自他を大切にすることを育む教育活動
 - ◇自ら課題を見つけ解決しようとする力を育む教育活動の推進
- 《大切にしたい5つの「こと」》 好奇心 冒険心 持続性 楽観性 柔軟性

《生徒の実態》強み

- ・素直で、仲が良く、協力的な態度で活動できる。
- ・学校行事をはじめとする様々な活動に積極的に取り組むことができる。
- ・ICT や学校図書館を活用した授業に慣れている。
- ・互いの個性をよく知っており、互いを気遣う優しい面がある。
- ・何事にもまじめに取り組む、指示されたことには誠実に取り組む。
- ・ふるさとに対して愛着を感じている。

《生徒の実態》弱み

- ・主体性に欠ける面があり、他への依存が強い。
- ・自ら課題を見つけ、主体的に学習に取り組む生徒は少ない。
- ・創造性、発想力に弱さがある。
- ・伝える力、伝える意欲に乏しい面が見られる。
- ・将来の夢や目標をもつ生徒が少ない。

《研究主題》

「未来へつながる思考力・判断力・表現力の育成」～互いが高まる伝え合い活動を通して～

《これまでの研究の経過》

- 令和4年度より3か年の研究計画立案
- 「伝え合い活動」の実践
- 「総合的な学習の時間」と各教科を関連づけた実践
- 授業力向上のための一人一授業（重点単元の設定・計画）
- 研究推進組織

《成果と課題》

- 各教科において、効果的な「伝え合い活動」の展開が定着している。
- 体験学習の中で、生徒の「伝えよう」という意欲の高まりが見られる。
- △「総合的な学習の時間」の生徒の主体的な探究意欲を喚起する仕掛けの工夫が必要である。
- △「対話力」が不十分で双方向の活動になりにくい。

《今年度の具体的な取組》

- 1 主体的・対話的で深い学びとなる「伝え合い活動」
- 2 親和的な人間関係を育むためのプログラムの実施
- 3 「総合的な学習の時間」における探究課題設定の工夫（探究学習伴走者としての研修）
- 4 学力向上のための手立ての改善・更新
- 5 小中高の連携

各教科

伝え合い活動

総合的な学習の時間